

令和5年度 葛ヶ丘 地区集会 自由テーマ

自由テーマ

高齢化社会を迎えた葛ヶ丘地区の取組み

テーマ選定理由

葛ヶ丘地区は、市内でも上位の高齢化率となっており、葛ヶ丘会館まで来るのも車を必要とする人が増えてきている。また、夏祭りの櫓を組めない、敬老会該当者が会館に入りきれない等、行事の準備や開催にも支障をきたすほどになってきている。

そこで、自治会やまち協ではそれなりの対応を工夫していく必要に迫られている。現在の取組みと、これからの方向性をこの機を利用して市とともに考えていきたい。

葛ヶ丘における高齢化の現状（実態）

- ・公園の維持管理が難しくなってきた
- ・車への依存度が増えている
- ・施設入所や親族との同居により空き家が増えてきた
- ・仕事に就いているため、役員のなり手が限られてしまう

具体的な提案等

(1) 葛ヶ丘地区における取組み

- ・数多くのサロンへの参加
- ・食事会「すみれ会」の開催
- ・見守り活動（地区福祉協、民生委員等）
- ・見守りを組長業務へ組み入れ
- ・まち協主催の「憩いの場」を設定
- ・一斉清掃を組内一斉清掃に
- ・夏祭りから秋イベントへ

【課題】

当地区では、高齢化が進んでいるだけでなく、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加しており、地域での見守りを行っているが、見守られる側との距離感の保ち方など、難しく感じるが増えてきている。

見守りの方法など、具体的な例があれば教えてほしい。

(2) 市への要望

- ① 歩道がシニアカーでは走りにくく使えない。車道との段差をなくせないか。
- ② 地区内では消防団への協力金のことが話題になっているが、市からは消防団へどのように対応しているのか教えてほしい。
- ③ 高齢者の交通手段として、お達者半額タクシー事業を今年度も継続し、半年など長期間にしたり、個人負担を1/3に下げる等して、利用者の拡大を図ってほしい。